

会

報

社団法人 日本病理学会  
 〒 113-0033  
 東京都文京区本郷 2-40-9  
 ニュー赤門ビル 4F  
 TEL: 03-5684-6886  
 FAX: 03-5684-6936  
 E-mail jsp-admin@umin.ac.jp  
 http://jsp.umin.ac.jp/

社団法人日本病理学会

第 245 号

平成 20 年 (2008 年) 6 月刊

### 1. 第 99 回 (平成 22 年度) 日本病理学会総会における宿題報告担当候補者の推薦について

昨年より、宿題報告担当者については自薦に加えて学術評議員からの推薦を受けることとなりました。つきましては、宿題報告担当候補者の推薦を下記の要領でお願いいたします。学術評議員から推薦された候補者については、学術委員長名で推薦されている旨をご本人にお伝えし、応募されることをお勧めいたします。

推薦方法：日本病理学会ホームページよりダウンロードした所定の書式に、被推薦者名、演題名 (仮題)、簡単な推薦理由、推薦者名、などを記載のこと。  
 提出先：東京都文京区本郷 2-40-9 ニュー赤門ビル 4F  
 社団法人日本病理学会事務局

推薦締め切り：平成 20 年 7 月 31 日

本件につきましてご質問がありましたら、日本病理学会事務局または学術委員長までお問い合わせください。

日本病理学会事務局：

TEL 03-5684-6886 FAX 03-5684-6936

学術委員長 (岡田保典)：

TEL 03-5363-3763 FAX 03-3353-3290

### 2. 第 99 回 (平成 22 年度) 日本病理学会総会における宿題報告の募集について (公募のお知らせ)

第 99 回 (平成 22 年度) 日本病理学会における宿題報告を下記の要領により、募集いたします。

記

1. 応募資格：日本病理学会学術評議員
2. 募集人員：3 名。ただし、学術委員会による選考の結果、宿題報告担当者として適当と判断された応募者数が上記人員に達しない場合、第 99 回日本病理学会総会における

宿題報告を 3 題未満とすることがある。

### 3. 提出書類：

- ・日本病理学会ホームページよりダウンロードした所定の書式に、応募者名、演題名、選考用抄録 (1,000 字以内) などを記載のこと。ダウンロードできない場合は、日本病理学会事務局まで請求のこと。
- ・講演内容に直接関係のある自著論文 50 編以内の一覧
- ・代表的な自著論文 10 編以内の別刷

### 4. 提出先：〒 113-0033 東京都文京区本郷 2-40-9 ニュー赤門ビル 4F

社団法人日本病理学会事務局「宿題報告応募抄録」と明記し、書留郵便で送ること。

### 5. 締め切り：平成 20 年 8 月 30 日 (消印有効)

なお、第 99 回日本病理学会における宿題報告担当者は、平成 20 年秋の学術委員会において厳正・公明に選考し、同年 11 月の理事会審議にて決定いたします。本件につきましてご質問がありましたら、日本病理学会事務局または学術委員長までお問い合わせください。

日本病理学会事務局：

TEL 03-5684-6886 FAX 03-5684-6936

学術委員長 (岡田保典)：

TEL 03-5363-3763 FAX 03-3353-3290

### 3. 病理各論コア画像のブラッシュアップ委員の公募について

日本病理学会教育委員会委員長 覚道健一  
 日本病理学会教育委員会では、病理各論コア画像の収集と改訂を行うにあたり、学習者の視点をより多く反映させるため、後期研修医や病理学の大学院生にブラッシュアップ特別チームに参加いただきたいと考え、ご協力いただ

日本病理剖検輯報への新規登載の希望がございましたら、7 月 15 日までに事務局宛ご連絡ください。日本病理学会病理専門医研修認定施設および研修登録施設の認可には、登載されていることが条件となっております。

社団法人日本病理学会事務局 TEL: 03-5684-6886

FAX: 03-5684-6936

E-mail: jsp-admin@umin.ac.jp

る方を広く公募いたします。

応募資格：

- 1) 後期研修医か病理学教室大学院生
- 2) 原則的にボランティアとして協力いただける方

応募方法：

E-mailで、応募動機、抱負、病理各論コア画像改訂への提案などと、氏名、所属、病理歴、連絡先を記して、日本病理学会事務局内 (jsp-admin@umin.ac.jp) 教育委員会あてお送りください。

応募締め切り：平成20年10月末日

予定採用人数：5名程度

作業内容と予定：

- 1) 教育委員会のもと病理コア画像ブラッシュアップ特別チームを編成します。
- 2) 作業期間は2年とし、平成22年春に改訂版完成を目指します。
- 3) コア画像を用いた標準的な問題(国試レベル、CBTレベル)を作成します。
- 4) 学習者(学生)の視点に立って作業を進めます。このためチーム内に後期研修医や病理学の大学院生の参加を必要とします。
- 5) 年に1-2回程度のミーティングを予定しています(交通費実費支給)。教育委員会委員とともに、CBTのブラッシュアップの要領での再検討を予定しています。

#### 4. 病理各論コア画像への症例提供のお願い

日本病理学会教育委員会委員長 覚道健一

日本病理学会教育委員会が作成いたしました病理学各論コア画像は、各方面からご好評をいただいている一方、さまざまな点において改善の余地と内容の充実の余地があると思われまます。今回、教育委員会では、2年後を目途にこれを改訂することといたしました。病理学会会員諸氏におかれましては、お手元に多数の教育例、典型例をお持ちのこととぞんじます。病理学会会員諸氏からの標本提供のお願いを公告し、広く皆様方のご協力をお願いいたします。なお将来的にバーチャルスライドでの利用を予定しておりますため、原則ガラス標本での提供をお願いいたします。

対象症例と提供いただきたい項目、標本：

- 1) モデルコアカリキュラム項目に沿った典型例、教育例
- 2) 病理組織スライド(HE1枚及び必要であれば特殊染色、免疫染色のスライド)と典型的部分の画像ファイル(JPEG)
- 3) 診断に必要なまたは重要な臨床情報(検査値、部位、年齢、性、症状など)
- 4) 必要であれば、肉眼写真、X線写真の画像ファイル

(JPEG)

- 5) 必要であれば、提供者が重要と思われる所見と簡単な説明(CBT形式の設問でも結構です)を添付して下さい。

提供いただく前提、条件：

- 1) 著作権(版権)は病理学会に無償で委譲していただきます。
- 2) 提供者の名前はコア画像内に明記します。
- 3) ご提供いただきました症例の選択、採否、提示方法につきましては、教育委員会に、一任いただきます。

締め切り：平成20年10月末日

送付先：日本病理学会事務局内 教育委員会あて

〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-9

ニュー赤門ビル4F

#### 5. 新名誉会員の推戴について

平成20年度における新名誉会員は、下記の23名が推戴された。(ABC順)

栄本 忠昭	本間 学	石川 義磨	板橋 正幸
板倉 英世	笠原 正男	勝山 努	甲賀 新
宮田 幸忠	森 浩志	中田 勝次	並木 真生
岡村 明治	雑賀 興慶	斎藤 謙	坂江 清弘
笹生 俊一	丹下 剛	筒井 祥博	植松 邦夫
吉田 春彦	吉田 洋二	由谷 親夫	

#### 6. 新学術評議員の決定について

平成20年度新学術評議員は、下記の33名に決定した。

(ABC順)

相田 順子	浅井 直也	榎本 泰典	富居 一範
堀井 理恵	池原 譲	時々輪真由美	笠原 一郎
加藤 哲子	岸田由起子	小林 博也	小林 基弘
近藤 武史	近藤 智子	工藤 保誠	増本 純也
仲野 徹	中山 敏幸	緒形 真也	緒方 衝
大原関利章	榊原 綾子	坂下 直実	佐藤 勝明
関根 茂樹	下田 将之	竹内 賢吾	辻本 史朗
渡邊 みか	山野 三紀	山内 道子	安岡 弘直
横内 幸			

#### 7. 平成19年度学術奨励賞の授与について

平成20年5月16日の総会席上長村理事長から、第9回(平成19年度)学術奨励賞受賞者 池田純一郎(大阪大学)、宮川 文(京都大学)、宇崎崎宏(東京大学)、全 陽(金沢大学)に賞状および記念品が授与された。

## 8. 役員一覧（平成 20 年 4 月現在）

### 1. 理事および監事（任期：平成 22 年 3 月 31 日まで）

理事長	長村 義之
副理事長・常任理事	岡田 保典
副理事長・理事	深山 正久
常任理事	真鍋 俊明
常任理事	黒田 誠
理事	青笹 克之
理事	井内 康輝
理事	覚道 健一
理事	松原 修
理事	本山 悌一
理事	向井 清
理事	根本 則道
理事	坂本 穆彦
理事	佐藤 昇志
理事	白石 泰三
理事	居石 克夫
理事	寺田 信行
理事	上田真喜子
理事	山口 朗
監事	石原 得博
監事	太田 秀一

## 9. 会員の訃報

以下の方がご逝去されました。

折居 正之 学術評議員（平成 20 年 4 月 9 日ご逝去）

## お知らせ

### 1. 第 8 回皮膚病理診断研究会（第 4 回皮膚病理診断講習会）について

日 時：2008 年 11 月 8～9 日

会 場：東京医科大学

連絡先：東京医科大学病理診断学講座内

皮膚病理診断研究会事務局

担 当：高見澤 貴美子（泉 美貴秘書）

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-7-1

TEL：03-3342-6111（内 3524）

FAX：03-3342-2062

E-mail：byoushin@tokyo-med.ac.jp

年会費は英文誌 1 月号，病理専門医部会費は「診断病理」の 1 月号に振替用紙が綴じ込まれております。未納入の方はお振り込みをお願いいたします。お振り込みが遅れますと，一時的に送本を休止させて頂くこともございますので，ご留意下さい。

郵便振替口座 番 号 00130-4-32817

加入者名 社団法人日本病理学会

2008 年度  
病理学教育セミナーのお知らせ

IAP 日本支部主催，日本病理学会後援

日 時：平成 20 年 11 月 22 日（土）9：00～17：15

場 所：松山市総合コミュニティセンター（愛媛県・松山市）

教育シンポジウム 9：00～11：45

主題：子宮頸部の細胞診 New Wave—Bethesda system と Liquid based cytology—

モデレーター：加耒 恒壽（九州大学医学研究院保健学部門）

柳井 広之（岡山大学医学部・歯学部附属病院病理部）

1. 子宮頸部細胞診 overview  
加耒 恒壽（九州大学医学研究院保健学部門）  
柳井 広之（岡山大学医学部・歯学部附属病院病理部）
2. 子宮頸癌のスクリーニング戦略から治療まで 婦人科の立場から  
今野 良（自治医科大学さいたま医療センター産婦人科）
3. Bethesda system 用語とその細胞像  
三上 芳喜（京都大学医学部附属病院病理診断部）
4. Bethesda system 使用の実際  
方山 揚誠（八戸市民病院 臨床検査科）
5. Liquid Based Cytology の現状  
谷山 清己（呉医療センター/中国がんセンター）

◎当日はご自由にご参加下さい。（会場費 3,000 円，ハンドアウト代含む）その時に病理専門医の更新に必要な参加証をご用意いたします。5 単位が得られます。

スライドセミナー 13：00～17：15

1 時限目 13：00～15：00 ※印は新規のものです。

送付資料の注意事項

* A-1 骨髄の病理（MDS など）	大島 孝一	久留米大学医学部病理学講座	DVD (Mac, Windows に対応)
* B-1 子宮内膜症とその関連腫瘍	本山 悌一	山形大学医学部 人体病理病態学教室	DVD (Mac, Windows に対応)
C-1 甲状腺腫瘍，新 WHO 分類を中心として	加藤 良平	山梨大学大学院人体病理学講座	DVD (Windows のみ対応)
D-1 軟部腫瘍	橋本 洋	産業医科大学第一病理学講座	ガラス標本

2 時限目 15：15～17：15

* A-2 臍腫瘍性病変の病理	諸星 利男	昭和大学医学部第一病理学教室	DVD (Mac, Windows に対応)
* B-2 肺の外科病理 update	中谷 行雄	千葉大学大学院医学研究院 診断病理学講座	DVD (Mac, Windows に対応)
	松原 修	防衛医科大学校病態病理学講座	
C-2 悪性リンパ腫関連疾患	吉野 正	岡山大学大学院病理学	DVD (Windows のみ対応)
D-2 皮膚付属器腫瘍	清水 道生	埼玉医科大学 国際医療センター病理診断科	ガラス標本

【注意事項】事前の送付資料はバーチャル・スライド（DVD-R）となりますが，D-1, D-2 コースのみ，ガラス標本となります。また，DVD はコースにより対応するパソコンの OS が違います。

病理専門医の資格更新単位として 10 単位が得られます。別添葉書にて申し込み下さい。定員超過コースは抽選となります。

受講料：1 コース IAP（国際病理アカデミー）日本支部会員 6,000 円，非会員 8,000 円

連絡先：IAP 日本支部教育委員長 内藤 善哉  
〒113-8602 東京都文京区千駄木 1-1-5  
日本医科大学病理学講座（統御機構・腫瘍学）  
TEL 03-3822-2131 内線 5232

IAP 日本支部事務局 常任幹事 根本 則道  
〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町 30-1  
日本大学医学部病態病理学系病理学分野  
TEL 03-3972-8111 内線 2256